※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	無し						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「手書き文字」を大切にし、ボールペン・筆ペン・小筆等の用具を用いて美しい文字を書くことを学習する。
- 履歴書の文部科学省硬筆書写検定３級の合格への対応。
- 各種コンクールへの出品(４コンクール予定)への入賞を目指す。
- 書道・美術のコラボにより芸術作品（未定２～３作品）を作成する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】文字を正確に美しく能率よく書く能力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】日常生活における書の美しさを感じる能力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって書を愛好する心情を育成し、社会人として将来的に役立つ表現と鑑賞の能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文字を正確に手本通り忠実に学習し、美しく書く能力を身につける。 また技法を習得し日常生活に役立つ実用的な力を身につける。	ボールペン・筆ペン・小筆を用いて用具の特徴を生かしながら、その場面に応じた美しい文字を書くことが出来るようになる。 文字を通じて自己表現に結びつけるセンスを身につけ創意工夫が出来るようになる。	美しい文字を書けるように「書く力」を身につける。 書くことに対して楽しさや価値をどのように実感できるかを評価。 自己研鑽を積み、技量を高めるために粘り強く意欲的に授業に取り組めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ペン字基礎	ペン字基礎学習 楷書・行書プリント 書写技能検定 3 級を目指す 書道技能検定の模試を行う ペン字コンクール出品	a:手本をよく観察し文字のバランスや全体構成を理解し身につける。 b:楷書・行書体の均整の取れた字形を修得する。 c:正しい文字の書き方を身につけ意欲的に取り組む。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	筆ペン基礎	筆ペンの学習 楷書・行書プリント 毛筆コンクール出品	a:筆ペンの基本点画を理解し身につける。 b:楷書・行書体の均整の取れた字形を修得する。 c:筆ペンの用筆を身につけ意欲的に取り組む。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
二学期	小筆基礎	小筆の基礎学習 楷書・行書プリント 毛筆コンクール出品	a:漢字の基本をマスターし理解を深める。 b：楷書体の美しさを修得する。 c:小筆の用具のを身につけ意欲的に取り組む姿勢。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	創意工夫作品	色紙カレンダー 書道・美術のコラボ作品作成	a：文字の構成や形式を理解し身につける。 b:自分で選んだ語句を用いて作品制作し自己表現の喜びを味わうことを修得する。 c:創意工夫を身につけ互いの作品鑑賞しあい意欲的に取り組む。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
三学期	蒔絵作品	金沢の伝統工芸(蒔絵作品作成)	a:漆の液の扱い方を理解する。 b:蒔絵の粉の扱い方を修得する。 c:作品作成を通して自己表現を身につけ意欲的に取り組む。	作品	プリント	振り返りプリント 観察
	小筆応用	慶弔関係書き方 缶バッチ作成	a:熨斗袋等の書き方、ルールについて理解し身につける。 b:熨斗袋等の構成を修得する。 c:意欲的に取り組む。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度